

角を占拠し、部落から独自の町長を立てるなどして日常業務を始める一方、「財産も学校も別にせよ」と町からの分離を要求した。

しかし、話し合いがつかず、結局上層部だけの折衝に終わり、「町が謝ったから引け」というようなことで部落の人たちも引き揚げたという。

この事件は『ひょうご部落解放23』、北但同和促進協議会刊『但馬に生きる』、神戸新聞社会部編『差別の壁の前で』等にも掲載されている。

第六節 福祉の充実

国民健康保険

と国民年金

本町では合併と同時に国民健康保険を全域に拡大し、町政の重要施策としての発展に努力を有する者は全部出石町の被保険者となった。また、国民健康保険事業が疾病・負傷・死亡・分婉ぶんべん等すでに発生した身体的事故に対する医療給付の措置だけではなく、被保険者（町民）の疾病を予防するという面も併せもち、町民の健康保持・増進を図ろうとするものであることから、一般公衆衛生活動を含めた保健活動を行なう保健婦の設置が急がれていた。合併一年後の一九五八年に待望の保健婦が設置され、大きな期待が寄せられている。そのようすを『広報いずし』（一九五八年九月三日発行）は、「国保事業の面からのみ重要であるばかりでなく他面保健所を中心とした町の衛生行政の仕事と一体になり、これに協力しその足らざるを補いあるいは先行し、わが新生出石町の公衆衛生の強化推進を果さんとする役割は極めて大きい。保健婦設置に伴い国庫補助三分の一が交付され、この活動を強化することにより医療費が合理的に節減され保険財政の確立、保険税の軽減など事業の円滑な運営が期待される」と伝えている。しかし、その設置も長くは続かず、保健活動の端緒すら充分につかめないまま立ち消えになり、以後懸案事項として相当の年月を経ることにな

る。一九六八年（昭和四三）になってようやく保健婦の設置が実現している。それを知らせる『広報いずし』（一九六八年五月一日発行）は、「どんな健康相談でも」―国民健康保健婦設置―との見出しで、「出石町では懸案になっていた保健婦を四月一日から設置し、国民健康保険運営の一環として、疾病予防などの保健活動を町の一般公衆衛生活動と並行して行なうことになりました」と前置きし、近年医療費の値上がりや医療機関で受ける受診率が高くなったことで健康保険の会計が全国的に苦しく、出石町でも新年度には保険料を増額しないと国民健康保健事業の運営が困難になることを述べ、「出石町のみなさんが健康であることは低い保険税ですむだけでなく、住民全体の幸せです」と疾病予防思想の普及を強調すると共に、保健婦の行なう保健活動への理解と協力、更には保健婦の十分な活用をアピールしている。その後、健康相談・保健指導等にみられる保健活動のたゆまぬ取り組みは、健康増進を主題とした推進体制の基礎づくりをはじめ、健康管理・健康づくりの輪を着実にひろげつつある。

拠出制国民年金の届出事務は一九六〇年（昭和三五）一〇月から始まり、翌年の四月から徴収事務が行なわれた。一九六四年（昭和三九）における被保険者は、強制二八一一人・高齢三三八人・若年三七二人であり、福祉年金の受給状況は、老齢年金六九二万円・障害年金四六万円・母子年金一七万円と年々人員の増加と受給額の増加により、町全体としては一九六四年度で一〇〇〇万円以上にのぼる金額となった。その後法改正が何回か行なわれたが、なかでも一九八六年（昭和六一）度には基礎年金制度の導入、婦人の年金権（第三号被保険者の設定）の確立が図られるなど、年金制度体系の再編成をみた。ちなみに一九八六年三月三十一日現在の国民年金加入者数等は、強制加入者二一一人（内、法定免除一六二人・申請免除一三二人）・任意加入者六九四

人・促険料徴収額二億六六一万三三〇円である。また、一九八五年度の国民年金等受給者数は表178のとおりである。

出石町社会福祉協議会の活動
社会福祉協議会は、地域住民が主体となつて地域社会における社会福祉の問題を解決

し、その改善向上を図るために、公私関係者の参加協力を得て、組織的活動を行なうことを目的とする民間の自主的な組織である。

一九五一年（昭和二六）に発足した兵庫県社会福祉協議会に歩調を合わせ、県下市町村においても新しい協議会結成が急速に進み、一九五二年（昭和二七）三月には県下全市町村で結成された。

その後、出石町社会福祉協議会は一九七〇年（昭和四五）社会福祉法人として設立認可され、福祉の改善向上のため活発な活動を続けてきたが、現況は次のとおりである。

①在宅福祉活動

(イ)老人給食サービス 独居老人に対する給食サービスは一九七九年（昭和五四）から始められ、引き続き「いずみ会」の協力を得て実施

(ロ)入浴サービス 移動入浴車を利用して寝たきり老人・重度障害者を対象に実施

表 178 国民年金等受給者数一覧

区 分	国 民 年 金	福 祉 年 金
老 年 年 金	1,640人	418人
障 害 年 金	1 級 級 20	1 級 級 100
	2 級 級 28	2 級 級 54
母 子 年 金	16	
母 子 年 金	10	
遺 児 年 金	5	
合 計	1,719	572
受 給 金 額	527,477,700円	181,812,160円
支 給 月	3, 6, 9, 12(11)月	4, 8, 12(11)月

備考 数字は、「出石町町民課調べ」による(1985年度実績)。

- ② ボランティア活動 町民から提供された「古切手」、「ロータスクーポン」はボランティアにより整理され、「古切手」は「お誕生ありがとう運動本部」、「キリスト教海外医療協力会」に送付
- ③ 相談活動 心配ごと相談・結婚相談
- ④ 福祉推進事業
 - (イ) 老人福祉 老人福祉大会(出石町・寿会連合会共催)・一日里がえり
 - (ロ) 障害者福祉 「希望の旅」―バス旅行を通じてボランティアや仲間とのふれあいを図る
 - (ハ) 母子福祉 「若年母子の集い」―母子・父子家庭の親子やボランティアの交流 「進学就職激励会」を開き、母子・父子家庭の中学卒業生を激励
- ⑤ 広報活動 「いざし社会の福祉」発行
- ⑥ 世帯更生資金貸付
- ⑦ 共同募金運動協力
- ⑧ 歳末助け合い運動
- ⑨ 利用事業 葬祭の簡素化を図るため葬具設置
- ⑩ 日赤事業 社資募集 家庭看護法講習会



写真 347 老人福祉センター

⑪ 家庭奉仕員派遣事業 家庭奉仕員による独居老人宅訪問、家事等の援助

⑫ マイクロバスの利用

⑬ 善意銀行

⑭ 友愛基金貸付

高齢化社会の到来は社会生活に様々な課題をなげかけている。住民ひとしく健康で文化的な生活ができ安心して暮らせる社会づくりをめざして、とりわけ児童・老人・母(父)子家庭・心身障害者(児)など社会的に弱い立場にある人々に対し、より一層広範できめ細やかな福祉施策の展開が望まれる。

**民生委員協
議会の活動** 民生委員は一九四八年(昭和二三)の「民生委員法」施行により設けられた(戦前は方面委員といわれていた)。厚生大臣からの委嘱を受け社会福祉の保護指導を任務とする名誉職で、生活保

護・児童福祉・老人福祉などの社会保障法の施行について行政機関に協力すると共に、地域社会の福祉増進のために自主的な活動を行なっている。民生委員協議会には障害福祉部・老人福祉部・母子児童福祉部・婦人部の四部がある。また、民生委員は児童委員を兼ねている。児童委員は「児童福祉法」(一九四七年制定施行)第一二条の定めに基づくもので、児童及び妊産婦につき常にその生活及び環境の状態をつまびらかにし、その保護・保健その他福祉に関し援助及び指導をすること等を任務としている。民生・児童委員の存在が、地域社会の福祉増進に大きく寄与していることは今更申すまでもないことであるが、今後高齢化社会の到来が予測されるなかで、福祉施策の充実と併せますます重要視されるであろう任務の遂行を思う時、より地域に密着した細やかな福祉活動の展開に大きな期待を寄せずにはいられない。

第七節 一二世紀をめざして

出石町合併三〇周年記念事業

一九八七年（昭和六二）は新出石町が誕生して三〇年目に当たり、町では郷土出石の発展を祝うと共に、過去をふり返り先人をしのぶことによって、新しい時代に即応する町づくりの創造と地域により一層の活性化を図っていくために「確かなる明日をめざして」をテーマにさまざまな事業を記念事業として開催した。

○合併三〇周年記念式典 九月一日、町民センターで開催。町民憲章披露・功労者表彰・児童生徒作文コンクール表彰。

○三〇周年記念誌発行（全戸配布）。

○上田市訪問町民号 七月二五～二七日、町民二〇〇人余りがバスで夏の志賀高原と姉妹都市長野県上田市を訪問、芳泉寺参詣や「上田ワッショイ」に参加した。

○サマーコンサート「グッバイサマーフェスティバル」 八月三〇日、出石中学校グラウンドで開催。三〇年ぶりの花火が



写真 348 合併30周年記念式典で決意を述べる
升田賢一町長

夜空をいろどった。

○消防団合併三〇周年消防大会 一〇月四日、従来の操方大会に加えて記念誌を発行。

○町民体育祭 一月一日、町民総合グラウンドで開催。その他ソフトボール・野球・マラソンなど町民あがての各種体育行事を開催した。

○お城まつり 一月三日、合併三〇周年を祝って警察音楽隊のバレードや総勢一六七名の大がかりな大名行列が盛大に行なわれた。上田市からも市長はじめ多数の市民が来訪。同日、町民文化祭・水道施設二〇周年記念展示が開催された。

○伊藤清永展 郷土が生んだ現代日本洋画壇の重鎮伊藤清永画伯の展覧会を一月二〇日から三〇日に行なわれ、町民センターで開催、町内外から一万人を上回る来観者で連日にぎわった。生涯にわたる画伯の作品が本町に寄贈されることになり、美術館建設が検討されることになった。

○記念植樹祭 一九八八年（昭和六三）三月二十九日、入佐山公園で実施。

伊藤美術 一九八九年（平成元）一月三日、出石町内町の旧仙石家老屋敷跡地に立伊藤美術館が竣工、工開館した。伊藤清永画伯は、一九一一年（明治四四）二月二四日に出石町下谷の吉祥寺の三男

に生まれ、長ずるや上京して岡田三郎助に師事、東京美術学校西洋画科を卒業後洋画壇で活躍、一時渡欧してパリ生活を送り、帰朝後日展内閣総理大臣賞・芸術院恩賜賞などを受賞し、日本芸術院会員・日展常務理事・白日会会長として精力的に多数の大作を制作発表しつづける現代日本洋画壇の重鎮である。その少年期の作品から「発光する裸婦」と称えられる現代の作品まで、各時代の代表作を含めた全時代を網羅した作品

一四〇点余（油彩画六〇点余・スケッチ三一点ほかにデッサン・水彩画・リトグラフなどが生まれ故郷の出石町に寄贈され、これを受けた出石町が著名建築家宮脇檀氏設計、株式会社川嶋工務店施工のもとに、二一一三平方メートルの敷地に地下一階地上二階の鉄筋コンクリート造り延べ面積九五六平方メートルの近代的美術館を、総工費三億六三二八万円で文化芸術の殿堂として建設した。伊藤画伯にはその功績を称えて出石町名誉町民の称号が贈られ、初代館長には玉岡美寛（元豊岡北中学校長）が就任している。

町民憲章 本町合併三〇周年記念事業の一つとして制定された『町民憲章』は、その前文に「わが城下町の制定

出石は、古来但馬の中心として栄え、美しい自然の中で独自の文化を育ててきた町です。私達は、先人のいとなみを受け継ぎ、さらにすばらしい町の創造をめざして、この憲章を定めます」と宣言し、続いて

一、私達は、「いのちを尊び人の和を大切にす豊かな町をつくります。

一、私達は、健康で生きがいのある豊かな町をつくります。

一、私達は、よき伝統を生かし、文化の香る豊かな町をつくります。

一、私達は、仕事に励み、活力のある豊かな町をつくります。

一、私達は、常に未来を見つめ、自らが築く豊かな町をつくります。

とうたっている。

二二世紀をめざす我々の前途には多くの課題が山積しているが、全町民の総力によってこれを克服し、豊かな町づくりをめざさねばならない。

編集後記

平成三年三月一日、出石町史第二巻（通史編下）を発行することができた。本当に喜ばしいことである。出石文化が更に大きく華ひらいた感じである。既刊の第一・第三巻に続く本巻の刊行は出石町史編集の進行において重要な段階を超えたことになる。

本書の発行は桜井勉先生が『校補但馬考』を出された一九二二年（大正一一）七月二〇日より約六九年、また『神美村誌』発行の一九五七年（昭和三二）一月一日より約三四年経過している。両書の系譜上にある本町史の発行は重要な意義をもっている。組織を整えて本巻の編集作業を開始したのは一九八五年（昭和六〇）五月一八日であった。以来六年近くをけみしている。

本巻は出石町の近現代史である。幕末維新期の

文久年間（一八六一年）より今日に至る約一三〇年間の出石人の活動を叙述している。いささか自賛に墮して恐縮であるが、本書は真実を求めて正確を期し、格調を持するよう努めた。学問的評価にたえるものであると自負している。ご愛読下さるようお願いする。しかし、なお多くの誤謬をおかしていることを恐れる。批判、叱正を期待するものである。おもうに本書の刊行は多くの人々のご尽力によるものである。とりわけ梅谷光信先生には執筆の上に監修をお願いした。計画の当初より指導、助言、ご尽瘁をいただいた。衷心感謝申し上げるしだいである。健筆をふるって下さった先生方、貴重な史資料を提供していただいた方々、編集発行等の事務・作業に直接従事された皆様に深謝する。河北印刷株式会社は誠実に、高い技術

をもって納本された。多謝するものである。

一九七七年（昭和五二）四月、条例が制定され、

編集関係者
出石町史編集委員会

町史編集室が設置されてより一〇数年、その間ご

会 長 廣 井 實

心配、ご迷惑をおかけした。お詫びを申しあげ

副会長 長 尾 家 次

また、暖かいご協力、ご理解をいただいた。お礼

委 員 石 田 善 人

を申し上げる。編集の現段階は全四巻中三巻の刊

〃 〃 梅 谷 光 信

行を了し、第四巻の作業中である。所謂最終段階

〃 〃 岡 本 久 彦

にある。諸賢のご指導、ご協力をお願いする。

町史編集担当者

歴史の流れは変わるけれども、止まることも切

小 高 与 志 美

れることもない。地球の気温は上昇すると言われ

吉 谷 礼 子

る。人類の環境は宇宙空間に拡張する。世界史は

発行関係者

今大きな転回点にある。世界はどこに行くのであ

総務課

ろうか。日本は如何に変わるのであらうか。我々

課 長 岩 見 保

は美しい出石町史をつくらねばならない。

課長補佐 芦 田 和 美

財政係長 山 下 康 雄

庶務係長 小 林 誠

写真

写真1	下賀茂神社(京都市) ……6	写真21	『極密之書』(荒木家文書・吉祥寺管理) ……37
写真2	上賀茂神社(京都市) ……7	写真22	二条城(京都市) ……41
写真3	荒木頼母恒立の墓(吉祥寺) ……11	写真23	藩主の直書(『御用部屋日記』慶応3年12月16日条) ……42
写真4	中立売御門(京都市) ……12	写真24	伏見稻荷(京都市) ……44
写真5	妙法院(京都市) ……15	写真25	本陣屋敷絵図(但東町 小山芳彦氏藏) ……44
写真6	京都御所(京都市) ……16	写真26	園部城跡(園部町) ……47
写真7	生野代官所跡(生野町) ……17	写真27	「西園寺殿御供日記」(『但馬志料』第43巻・宗鏡寺藏) ……48
写真8	多田弥太郎顕彰碑(暮坂区) ……18	写真28	太政官よりの沙汰書(『御用部屋日記』慶応4年2月4日条) ……54
写真9	『但馬志料』第43巻(宗鏡寺藏) ……18	写真29	仙石政固, 藩制の改革令を発令(『御用部屋日記』慶応4年4月21日条) ……56
写真10	池田屋騒動碑(京都市) ……20	写真30	出石藩, 版籍奉還を上表する(『仙石家譜』明治2年2月17日条) ……64
写真11	蛤御門(京都市) ……20	写真31	仙石讃岐守久利, 藩知事に任ぜられる ……64
写真12	男山(八幡市) ……21	写真32	職員令(『御用部屋日記』明治2年10月11日条) ……67
写真13	天王山(大山崎町) ……22	写真33	桜井熊一, 権少参事に任ぜられる(『御用部屋日記』明治2年10月14日条) ……68
写真14	久畑の関所跡(但東町) ……23	写真34	仙石越前守政固, 藩知事に任ぜられる ……75
写真15	西念寺(養父町) ……24	写真35	「長孝実伝2」(『但馬志料』第38巻・宗鏡寺藏) ……78
写真16	桂小五郎・幾松 ……27	写真36	弘道館跡地 ……81
写真17	桂小五郎が広戸喜七にあてた礼状(広戸順子氏藏) ……28		
写真18	久美浜代官, 宮崎達次郎の書面(『御用部屋日記』慶応2年4月16日条) ……32		
写真19	申し渡し書(『御用部屋日記』慶応2年8月5日条) ……35		
写真20	大砲鑄造のため献納を申し出て喜ばれる(『御用部屋日記』慶応2年8月15日条) ……36		

写真・表・図 一覧

巻 頭 写 真

- | | | |
|-------|-------------------------------------|-----------------------|
| カラー写真 | 白磁籠目菊花貼付花瓶 (明治期) | 神戸市 兵庫県陶芸館蔵 |
| 1 | 桂小五郎脇差 | 広戸順子氏蔵 |
| 2 | 旧郡役所建物 | 魚屋区 |
| 3 | 第五十五国立銀行発行の五円紙幣 (表・裏) | 但馬銀行出石支店蔵 |
| 4 | 桜井勉筆 | 県立出石高等学校蔵 |
| 5 | 歌舞伎衣裳 | 小幡謹一郎氏蔵 |
| 6 | 夏日漱石書簡 | 坂本典三郎氏蔵 |
| 7 | 加藤弘之筆横額 | 弘道小学校蔵 |
| 8 | 登り窯 (大正末期) | 宮崎昌美氏提供 |
| 9 | 入佐山からの眺望 大正末期(上)と現在(下) | 宮崎昌美氏提供 |
| 10 | 出石鉄道蒸気機関車 (貨物列車) | |
| 11 | 出石鉄道出石駅 (開通前の光景) | |
| 12 | 出石鉄道ガソリンカー客車内部 (1929年〔昭和4〕) | |
| 13 | 出石鉄道社章 | |
| 14 | 出石鉄道島口駅 (1938年〔昭和13〕ごろ) | |
| 15 | 出石川の浅瀬で憩うコウノトリ (1959年〔昭和34〕出石町伊豆にて) | 豊岡市 高井信雄氏撮影 (富士光芸社提供) |
| 16 | 斎藤隆夫書 | 但東町 岡田徳太郎氏蔵 |
| 17 | 静思堂 (斎藤隆夫記念館) | |
| 18 | 町 章 (1958年〔昭和33〕2月14日制定) | |
| 19 | 町 花 (てっせん・1982年〔昭和57〕8月19日指定) | |
| 20 | 町 木 (もみじ・1982年〔昭和57〕8月19日指定) | |

写真・表・図 一覧

写真69	小野川、穴見川の合流地点(豊岡市) ……………260	写真87	『但馬商工便覧』に掲載された一商家……………302
写真70	旧小野橋下流 ……………260	写真88	仙石秀久公, 信州より移封200年記念の大名行列 ……307
写真71	『出石町要務論』(金沢省三氏蔵)……………262	写真89	明治40年代の大名行列の順路(『但馬新聞』1909年〔明治42〕9月24日付) ……308
写真72	町村域図(5万分の1地図)……………267	写真90	大名行列の槍振り……………309
写真73	出石町航空写真 ……………268	写真91	稲荷神社……………310
写真74	平尾源太夫家 ……………272	写真92	出石初午祭の新聞広告(『但馬新聞』1910年〔明治43〕3月10日付)……………312
写真75	大石藤兵衛家 ……………273	写真93	『出石物語』……………313
写真76	小坂田圃整理碑 ……………278	写真94	出石警察署(柳町)……………315
写真77	『兵庫県出石郡小坂村耕地整理事業一斑』……………278	写真95	劇場新設の許可証(小幡謹一郎氏蔵)……………322
写真78	田淵惣右衛門村長(田淵進氏提供)……………280	写真96	永楽館の図面(小幡謹一郎氏蔵)……………322
写真79	小坂田圃全景(『小坂村耕地整理事業一斑』より)……………282	写真97	歌舞伎芝居の奉納額(1914年〔大正3〕・小幡謹一郎氏蔵)……………324
写真80	平尾源太夫(在親)……………283	写真98	歌舞伎衣裳〈黒地・滝に牡丹唐獅子文様繻〉(小幡謹一郎氏蔵)……………325
写真81	『加藤弘之自叙伝』(松本和夫氏蔵)……………288	写真99	出石町青年団野球部……………327
写真82	『但馬商工便覧』(豊岡市石田香氏蔵)……………289	写真100	斎藤隆夫……………332
写真83	山陰鉄道縦貫線に関する意見書(豊岡市立図書館蔵)……………294	写真101	斎藤隆夫の衆議院議員当選証書(東京都 斎藤義道氏蔵)……………333
写真84	城崎香住間の鉄道開通する(『但馬新聞』1911年〔明治44〕10月25日付)……………296	写真102	米騒動起こる一官憲によって削除された紙面一(『神戸新聞』1918年
写真85	『但馬商工便覧』に描かれている出石電信局(右下)……………300		
写真86	出石特設電話の新聞広告(『但馬新聞』1910年〔明治		

写真37	善光寺(安良区)……………84	尾(1875年〔明治8〕・中 和岡右衛門氏蔵)……………187
写真38	出石藩日誌に記された廃 藩置県(明治4年7月23 日条)……………97	写真52 『但馬会雑誌』第1号……………200
写真39	「米切手」引き揚げの触 を記す長良家日記(明治 4年4月20日条)……………99	写真53 『兎山櫻井勉翁米壽賀集』 (兵庫県史編集室蔵)……………202
写真40	仙石政固(明治40年ごろ) ……101	写真54 『兵庫県郡役所事績録』……………204
写真41	市校, 女学下校合併通達 (『出石県日誌』明治4年 10月3日条)……………112	写真55 出石郡役所(現在の出石 町役場敷地内)……………205
写真42	豊岡県支庁出石局となる (元『出石県日誌』明治4 年12月12日条)……………114	写真56 初代出石町長岡部久洋 (西宮市 岡部公一氏提供)……………206
写真43	出石町区画決定申達(『長 良家日記』明治5年4月 24日条)……………118	写真57 初代室埴村長国村又右衛 門(尼崎市 国村信隆氏提 供)……………207
写真44	受理副戸長兼小学校世話 懸辭令(京都市 長良政雄 氏蔵)……………123	写真58 初代小坂村長中和岡右衛 門(中和岡右衛門氏提供) ……208
写真45	『三丹州置県請願理由書』 ……129	写真59 初代神美村長平尾学治郎 ……209
写真46	晩年の西山員直(出石神 社提供)……………133	写真60 佐藤文兵衛 ……212
写真47	『兵庫県旧出石藩士族生 計一覧表』……………165	写真61 青木匡(憲政記念館提供) ……213
写真48	第五十五国立銀行出資金 禄公債預かり証 ……176	写真62 森本駿(中井弘氏提供) ……222
写真49	『国立銀行創立願』(但馬 銀行出石支店蔵)……………177	写真63 『早稲田学報』……………232
写真50	第五十五国立銀行発行の 老門紙幣(但馬銀行出石 支店蔵)……………178	写真64 『帝国憲法論』(出石神社 蔵)……………236
写真51	『現地 ^{反別} _{地佃} 明細帳』の末	写真65 日露戦争勃発(『神戸新 聞』1904年〔明治37〕2月 11日付)……………244
		写真66 日清・日露戦利品陳列 (出石神社)……………245
		写真67 「講話問題但馬国民大会」 開催される(『但馬新聞』 1905年〔明治38〕9月13日 付)……………246
		写真68 新井晴簡(『但馬新聞』よ り)……………247

写真・表・図 一覧

	付近……………392		より) ……………463
写真129	幟回し(宮内区)……………407	写真148	巖本善治……………466
写真130	川下神社(袴狭区)……………411	写真149	『女学雑誌』(岡本久彦氏 提供) ……………468
写真131	奉納相撲(出石神社境 内・水島義信氏提供) ……414	写真150	田中壤(東京都 長池敏 弘氏提供) ……………470
写真132	1874年(明治7)菅谷小 学校の創立記念絵図……………424	写真151	桜井恒次郎……………473
写真133	明治初期の出石小学校 (東大史料編纂所提供)…………426	写真152	『但州叢書』に収められ た「出石封内神社帳」 (出石神社蔵)……………481
写真134	『文部省第三年報』1875 年(明治8)……………429	写真153	『出石雑誌』の出石会会 則……………486
写真135	技芸学校当時の服装(県 立出石高等学校『創立 50周年』より) ……………438	写真154	『但馬雑誌』……………488
写真136	昭和6年度(1931)全但 ドッチボール大会優勝 記念……………442	写真155	松井昇……………491
写真137	出石高女愛国処女団旗 (県立出石高等学校蔵)…………443	写真156	野辺図……………493
写真138	神戸市立長楽小学校集 団疎開児童の寄せ書き…………444	写真157	染付花瓶(木戸孝允詩 文・宮崎昌美氏蔵) ……498
写真139	加藤弘之……………449	写真158	白磁籠目花瓶(出石神社 蔵) ……………500
写真140	加藤弘之の生家……………451	写真159	陽刻双鯉図額皿(高岡焼)…507
写真141	『国法汎論』……………453	写真160	倉谷溪司……………507
写真142	『迷想的宇宙観』(岡本久 彦氏蔵) ……………455	写真161	倉谷溪司の作品(岡本久 彦氏蔵) ……………508
写真143	桜井勉……………456	写真162	辰鼓楼真景図飾皿(宮崎 昌美氏蔵) ……………510
写真144	田中河内介が桜井勉に 送った詩(岡本久彦氏蔵)…457	写真163	月の出水図飾皿(九溪の セントルイス博覧会金 賞作品・池田甲子郎氏蔵)…511
写真145	『出石郡経済論』(出石神 社蔵) ……………461	写真164	白磁籠目菊花貼付花瓶 (巻頭写真)の底部銘…………512
写真146	『校補但馬考』……………461	写真165	金欄手面取花瓶(内海 製・宮崎昌美氏蔵) ……514
写真147	木村熊二(年誌『巖本』	写真166	出石信用販売購買利用

[大正7]8月15日付) ……334

写真103 原敬内閣誕生(『大阪朝
日新聞』〈夕刊〉1918年
〔大正7〕9月29日付) ……335

写真104 鎌田三郎兵衛(西宮市
鎌田宣三氏提供) ……336

写真105 立憲青年党幹部(由良寛
市氏提供) ……338

写真106 川崎造船所大争議、負
傷者数十名に上る(『神
戸新聞』1921年〔大正
10〕7月30日付) ……339

写真107 当時の選挙情勢(『神戸
新聞』1924年〔大正13〕
2月15日付) ……340

写真108 若宮貞夫(東京都 憲政
記念館提供) ……341

写真109 第5回青年擬国会(『神
戸新聞』1924年〔大正
13〕11月1日付) ……343

写真110 第1回兵庫県青年議会
(『神戸又新日報』1926
年〔大正15〕12月5日付) ……344

写真111 阿瀬川水力電気株式会
社と帝国電燈株式会社
の合併届(『出石町重要
書類』より) ……346

写真112 東京電燈株式会社から
の寄付採納(『出石町会
会議録』より) ……347

写真113 宮崎久太郎町長(宮崎昌
美氏提供) ……354

写真114 「交通同盟会設立趣意

書」(『小坂村諸規則綴
より) ……356

写真115 出石郡の町村長らの上
京を伝える新聞(『神戸
又新日報』1926年〔昭
和元〕10月30日付) ……357

写真116 但馬師範学校設置に関
する請願書(『出石町会
会議録』より) ……359

写真117 出石町立技芸学校(県立
出石高等学校『創立50周
年』より) ……362

写真118 実科高等女学校設置に
関する議案書(『出石町
会会議録』より) ……365

写真119 小出雅雄町長(神戸市
小出守秀氏提供) ……366

写真120 出石焼の徳利(上田稔氏
蔵) ……371

写真121 井上金右衛門町長 ……378

写真122 平尾源太夫(令太郎)村
長 ……381

写真123 米の出荷風景 ……382

写真124 阿瀬川水力電気株式会
社と出石町との報償契
約書(『出石町重要書類
綴』より) ……386

写真125 久保谷(宮内区) ……388

写真126 松暎(川原町付近) ……390

写真127 北但大震災の報道記事
(『大阪朝日新聞』1925
年〔大正14〕5月24日付) ……391

写真128 北但大震災直後の大橋

写真・表・図 一覧

	失……………590		毎日新聞』〈夕刊〉1941
写真202	袴狭耕地(現在)……………591		年〔昭和16〕12月9日付) ……628
写真203	中山隣住居跡(鳥居区) ……592	写真218	西村政雄神美村長……………628
写真204	小坂村自作農奨励調査	写真219	2・26事件(『神戸新聞』
	委員会規程(『小坂村諸		〈夕刊〉1936年〔昭和11〕
	規程綴』より) ……594		3月1日付) ……629
写真205	治水に関する覚書(『小	写真220	懲罰委員会からの召喚
	坂村往復文書綴』より) ……599		状(東京都 斎藤義道氏
写真206	治水に関する申合規約		蔵) ……630
	(『小坂村往復文書綴』	写真221	斎藤隆夫、除名後の最
	より) ……600		初の選挙結果(『神戸新
写真207	伊豆一福居の左岸・右		聞』1942年〔昭和17〕5
	岸(現在)……………601		月2日付) ……632
写真208	岩城俊雄小坂村長……………602	写真222	出征兵士を送る(出石駅
写真209	六方平野(現在)……………604		にて) ……632
写真210	安良耕地整理組合の『会	写真223	第1回出石町町民体育
	議日誌』(中西丈夫氏蔵) ……605		大会……………633
写真211	『小作人別拔出』(中西丈	写真224	軍人遺家族慰安観劇会……………634
	夫氏蔵) ……606	写真225	国防婦人会(諸杉神社に
写真212	但馬五郡の農会幹部集		て) ……636
	会を開催(『神戸新聞』	写真226	大日本婦人会小坂村支
	1932年〔昭和7〕6月26		部発会式(『神戸新聞』
	日付) ……615		1942年〔昭和17〕7月6
写真213	袴狭部落農会共同田植		日付) ……637
	えの風景(昭和初期)……………616	写真227	米の通帳制実施(『朝日
写真214	大谷部落農会共同作業		新聞』1941年〔昭和16〕
	実習の風景(昭和初期)……………621		4月1日付) ……639
写真215	『内町外27ヶ町村共有山	写真228	強制供出で吊り鐘を出
	林関係書類』……………626		す(西宗寺)……………641
写真216	日華事変勃発(『大阪毎	写真229	古銭の回収……………642
	日新聞』1937年〔昭和12〕	写真230	出石町青年黎明会が素
	7月9日付) ……627		人演芸で資金募集(『神
写真217	太平洋戦争勃発(『大阪		戸新聞』1943年〔昭和

	組合跡地(宍田区)……………516	写真184	出石鉄道, 今日より開通(『神戸新聞』1929年〔昭和4〕7月21日付) ……562
写真167	延享元年2月5日のコウノトリ記事(『仙石家譜』より) ……518	写真185	出石鉄道路線地図……………563
写真168	コウノトリの巣籠り……………519	写真186	出石鉄道の補助規程(『出石町条例規程綴』より) ……566
写真169	「出石の鶴山」のリーフレット(出石鉄道株式会社発行) ……522	写真187	台風被害により橋脚が破損・流失……………567
写真170	鶴山の茶店……………523	写真188	台風被害による鉄橋の復旧作業……………568
写真171	小早川秋声と茶店(1915年〔大正4〕) ……525	写真189	満州事変勃発(『読売新聞』〈号外〉1931年〔昭和6〕9月19日付)……………568
写真172	東郷平八郎筆掛額……………529	写真190	但馬織物株式会社……………571
写真173	『出石名所舊跡略記』……………530	写真191	県立窯業作業所跡(下谷区) ……573
写真174	巣籠り土瓶(岡本久彦氏蔵) ……531	写真192	出石初午大祭(現在)……………575
写真175	正福寺からの眺望(市街地・現在) ……541	写真193	盆踊り風景(現在)……………576
写真176	池田吉太郎町長……………542	写真194	出石の土曜夜店(現在)……………577
写真177	寺町簡易水道跡(貯水槽) ……543	写真195	柵形通りの夜景(昭和初期) ……582
写真178	県立出石高等女学校……………549	写真196	永楽館建物(現在)……………583
写真179	5・15事件(『大阪朝日新聞』1932年〔昭和7〕5月16日付) ……551	写真197	明治期の興行ビラ(小幡謹一郎氏蔵) ……584
写真180	当時の小坂小学校……………553	写真198	『興行精算帳』(小幡謹一郎氏蔵) ……584
写真181	小坂村長が小坂小学校長にあてた文書(『小坂村往復文書綴』より) ……554	写真199	『中店揚高帳』(小幡謹一郎氏蔵) ……586
写真182	電燈料金に関する議案(『室埴村会会議録』より) ……560	写真200	映写室より発火し「始末書」提出(小幡謹一郎氏蔵) ……588
写真183	田中義一内閣, 支払猶予緊急勅令発布(『神戸新聞』1927年〔昭和2〕4月22日付) ……560	写真201	室戸台風により大橋流

写真・表・図 一覧

- 写真257 当時の公立豊岡病院出
石分院（現出石町役場
第1分館）……………697
- 写真258 公立出石病院……………697
- 写真259 既存建物の住宅化につ
いて（『出石町議会会議
録』より）……………699
- 写真260 町営公益質屋の土蔵（現
出石町立史料館）……………700
- 写真261 小坂、神美農協の合併
を祝う興農祭（『神戸新
聞』1957年〔昭和32〕12
月3日付）……………713
- 写真262 出石チリメンの天日乾
燥（『神戸新聞』1953年
〔昭和28〕1月14日付）……………715
- 写真263 日野辺陶石……………718
- 写真264 出石焼に救いの神（『神
戸新聞』1954年〔昭和
29〕4月12日付）……………718
- 写真265 編み組みかご……………719
- 写真266 底あみ……………719
- 写真267 袍のう製造作業光景……………720
- 写真268 合併促進協議会設置に
ついて（『町村合併関係
綴』より）……………730
- 写真269 町村合併促進ポスター……………731
- 写真270 第1次合併計画区域……………732
- 写真271 町村合併促進大会の決
議文（『町村合併関係綴』
より）……………734
- 写真272 神美青年団の世論調査
……神美、小坂の合併
希望が43.1%（『神戸新
聞』1954年〔昭和29〕4
月5日付）……………735
- 写真273 町村合併で団結あせる
出石（『神戸新聞』1954
年〔昭和29〕4月11日付）…738
- 写真274 小坂、室埴、出石の町
村長・議長連署による
要請文書（『町村合併関
係綴』より）……………740
- 写真275 出石町議会の声明書
（『町村合併関係綴』より）…740
- 写真276 完全合併を勧告（『神戸
新聞』1957年〔昭和32〕
3月21日付）……………741
- 写真277 出石、室埴、小坂の町
村長連署による要請文
書（『町村合併関係綴』
より）……………741
- 写真278 出石町民声の交換大会
（『町村合併関係綴』よ
り）……………742
- 写真279 解村式で涙浮かべる神
美村民（『神戸新聞』1957
年〔昭和32〕9月1日付）…746
- 写真280 金沢鋭二町長（新町初代
町長）……………747
- 写真281 出石町役場……………777
- 写真282 『出石町建設計画書』……………782
- 写真283 伊勢湾台風による被害
（嶋区）……………783
- 写真284 伊勢湾台風による被害
（出石町福居橋）……………784

- 18) 6月19日付) ……644
- 写真231 金属の代用品としての
出石焼(『神戸新聞』1942
年〔昭和17〕6月10日付) ……645
- 写真232 磁器製手榴弾(武田好弘
氏蔵) ……646
- 写真233 磁器製振り輪(矢島龍一
氏蔵) ……646
- 写真234 但馬杞柳工業組合の創
設(『神戸新聞』1942年
〔昭和17〕10月22日付) ……647
- 写真235 軍用行李 ……647
- 写真236 出石町翼賛壮年団, 鉄
道復旧工事に奉仕(『神
戸新聞』1943年〔昭和
18〕10月29日付) ……649
- 写真237 撤収時の記念撮影 ……650
- 写真238 疎開児童記念撮影(福成
寺・楠真證氏提供) ……653
- 写真239 終戦の詔勅(『神戸新聞』
1945年〔昭和20〕8月15
日付) ……658
- 写真240 進駐軍神戸に上陸(『神
戸新聞』1945年〔昭和20〕
9月25日付) ……659
- 写真241 ソ連からの引き揚げ
(『朝日新聞』1946年〔昭
和21〕12月9日付) ……659
- 写真242 救援米5000俵, 阪神へ
輸送(『神戸新聞』1946
年〔昭和21〕6月13日付) ……661
- 写真243 新門切り替え(『朝日新
聞』1946年〔昭和21〕2
月17日付) ……663
- 写真244 新憲法実施(『朝日新聞』
1947年〔昭和22〕5月3
日付) ……664
- 写真245 警察署の位置, 名称及
び管轄区域に関する条
例(『出石町会会議録』
より) ……666
- 写真246 シャープ勧告(『神戸新
聞』1949年〔昭和24〕9
月16日付) ……674
- 写真247 加藤由蔵町長(加藤金之
助氏提供) ……675
- 写真248 6・3・3・4制本決まり
(『朝日新聞』1946年〔昭
和21〕12月29日付) ……682
- 写真249 中学校落成記念大名行
列ポスター ……686
- 写真250 出石町税増徴条例(『出
石町議会会議録』より) ……687
- 写真251 出石町公民館設置管理
条例(『出石町議会会議
録』より) ……688
- 写真252 第1回出石郡青年擬国
会開催記念(1955年〔昭
和30〕・加藤良和氏提供) ……690
- 写真253 『みちゆき』 ……690
- 写真254 青年団による芝居(保田
祐一氏提供) ……691
- 写真255 公明選挙運動(保田祐一
氏提供) ……691
- 写真256 文集『星雲』(京都市 高
山信子氏蔵) ……694

写真・表・図 一覧

写真324 婦人会総会……………884
 写真325 出石町青年団結成総会…………885
 写真326 第1回出石町夏季大学…………885
 写真327 『古書籍文書目録』…………889
 写真328 教委通信『いずし川』…………890
 写真329 此隅山航空写真……………893
 写真330 ナイトゲームにまで持ち込んだ家庭バレーボール大会(『広報いずし』)…894
 写真331 町民卓球大会……………896
 写真332 少年野球大会……………897
 写真333 少女バレーボール大会…………898
 写真334 「健康のカギ」運動のカード……………899
 写真335 町民総合グラウンド…………900
 写真336 B & G 財団出石海洋センター……………901
 写真337 小集落改良事業(工事風景) ……………902
 写真338 石田大策町長……………903
 写真339 隣保館……………904
 写真340 凧作り教室(児童館事業)…905
 写真341 “差別をなくそう運動月間” ……………905
 写真342 『同和教育のあゆみ』…………906
 写真343 『たがやし』……………907
 写真344 部落解放町民総決起集会……………908
 写真345 『解放の曙光を求めて』…………909
 写真346 第1回出石町同和教育研究集会……………910
 写真347 老人福祉センター…………915
 写真348 合併30周年記念式典で

決意を述べる升田賢一町長……………917

表

表1 出石藩兵人数 1868年(慶応4)2月 ……………55
 表2 最初の兵制改革時の部隊名と指揮者 1868年(慶応4)4月21日……………57
 表3 1868年(明治元)11月藩治組織表……………60
 表4 出石藩財政総括表……………65
 表5 1869年(明治2)12月改革の藩治組織表 ……………70・71
 表6 改正禄制と職俸 1869年(明治2)12月改正 ……………74
 表7 市・郷学課程表……………85
 表8 出石藩郡中吏職名簿……………88
 表9 出石藩市中吏職名簿……………89
 表10 1871年(明治4)戸長・副戸長一覧 1871年7月22日発令……………91
 表11 旧出石藩士卒の家禄高別分布と家禄奉還状況……………160
 表12 旧出石藩士族の廃藩後の職業と生計(1883年〔明治16〕10月調査)……………167
 表13 第五十五国立銀行の資金運用状況 ……………180
 表14 運用可能資金の推移 ……………180
 表15 戸数・人口の推移 ……………201
 表16 但馬関係総選挙並びに代議

写真285	谷山川放水路事業完成 予想図(合流工区)……………785	写真302	農協カントリーエレベ ーター……………815
写真286	台風20号による被害(川 原区)……………786	写真303	県営ほ場整備事業(小野 工区)……………818
写真287	小野川ショートカット 計画鳥瞰図……………787	写真304	出石たくあんの漬け込 み作業……………820
写真288	軒下に積み重なった大 量の雪(38豪雪)……………789	写真305	松くい虫航空防除……………825
写真289	(上)浅間峠のトンネル 工事(1960年〔昭和35〕), (下)浅間トンネル(1963 年〔昭和38〕4月開通)……………790	写真306	そば打ち風景……………829
写真290	道路改良(防塵舗装)……………791	写真307	繁華街……………831
写真291	購入されたダンプカー……………792	写真308	織機(リノズの製織)……………835
写真292	電話の自動化・出石電 話局開局(1971年〔昭和 46〕1月・今井武夫町長)……………795	写真309	但馬松下電器株式会社 全景……………836
写真293	有線放送始まる……………795	写真310	素焼光景……………840
写真294	水道事業所……………796	写真311	朝日産業株式会社出石 工場……………848
写真295	袴狭地区に完成したご み焼却場……………798	写真312	完成した出石城隅櫓……………858
写真296	出石町清掃センター誕 生する……………799	写真313	白糸の滝……………858
写真297	町営住宅建設される (1963年〔昭和38〕・小 人地区)……………802	写真314	いざし観光センター……………860
写真298	鳥居地区に完成した3 DKの町営住宅……………803	写真315	出石町スクールバス……………862
写真299	手引動力ポンプ(中西隆 義氏提供)……………806	写真316	台風20号により中学校 浸水……………863
写真300	消防学校での入校訓練 風景……………808	写真317	寺坂小学校の新校舎……………864
写真301	北但広域消防出石郡出 張所……………809	写真318	郷土学習のしおり(『地 理篇』・『歴史篇』)……………865
		写真319	『出石教育』……………867
		写真320	学校給食センター……………868
		写真321	成人大学講座(公民館活 動)……………875
		写真322	『答申書』(出石町社会教 育委員会議)……………880
		写真323	青少年健全育成P T A 活動事業(野外活動)……………882

写真・表・図 一覧

	区・第二大区(現出石町関 係分)学区表……………425	表72 鳥取連隊区兵器献納義金醜 出高 ……………569
表55	豊岡県公立小学校表(出石 関係分)……………430	表73 出石町の主要工業製品生産 額② ……………570
表56	新設校及び新校名(出石関 係分)……………431	表74 永楽館の興行内容と入場券 販売枚数(1924年6月～1925 年4月)……………585
表57	学齡児童就学・不就学の比 較(1898年〔明治31〕1月現 在)……………435	表75 出石郡の米・藁の総価額 ……590
表58	就学児童既卒業・未卒業の 区別及び不就学児童未就 学・半途退学の区別(1898 年1月現在)……………435	表76 小坂村の自作農創設維持事 業 ……………595
表59	加藤家略系譜 ……………450	表77 室埴村の自作農創設維持事 業 ……………596
表60	桜井家略系譜 ……………459	表78 自作農創設維持事業が実施 された村の小作地の比率 ……597
表61	出石町寺院一覧(1918年〔大 正7〕現在)……………479	表79 但馬地方における部落農会 普及状況(1931年〔昭和6〕 現在)……………609
表62	出石町神社一覧(1874年〔明 治7〕現在)……………480	表80 長砂の総収入(1931年〔昭和 6〕)……………612
表63	六山職人人数(1878年〔明治 11〕現在)……………503	表81 長砂部落農会の組織(1931 年〔昭和6〕現在)……………613
表64	1899年(明治32)窯業工場概 況……………504	表82 室埴村の産米と畜牛 ……620
表65	青年党関係出石町会議員数 ……538	表83 出石鉄道経過年表 ……651
表66	出石町青年党関係県議・町 議の階層……………539	表84 出石町警察職員階級等級及 び定員……………667
表67	出石地域の町村税滞納 ……544	表85 出石町独立税の課税標準率 及び賦課定額又は賦課総額 一覧……………672・673
表68	室内・屋外燈料金(定額)の 推移……………556	表86 教育委員会法, 地方教育行 政の組織及び運営に関する 法律対照一覧……………684
表69	出石鉄道時刻表……………563	表87 農地等買収実績総括表 ……708・709
表70	1930年の出石鉄道の運輸実 績……………564	表88 農地等売渡実績総括表 ……708・709
表71	出石鉄道の運輸実績……………565	

士一覽……………214～220	表36 山陰線開通經過年表 ……………298
表17 有権者数の推移 ……………224	表37 『但馬商工便覧』登載出石町内所在商店一覽 (1889年〔明治22〕)……………303
表18 衆議院議員選挙有権者数 (1898年〔明治31〕2月現在) ……225	表38 民間電話加入者町別職業別一覽 (1910年〔明治43〕12月) ……304
表19 衆議院議員選挙有権者名簿 (1898年〔明治31年〕2月現在) ……226～228	表39 出石地区農工商団体一覽 (1918年〔大正7〕) ……………305
表20 士族・平民別戸数一覽表 (1885年〔明治18〕) ……………229	表40 出石郡の主要生産物価格 ……349
表21 衆議院議員選挙有権者数 (1922年〔大正11〕) ……………229	表41 1922年出石郡の工産物総価額 ……………350
表22 出石郡町村会議員及び有権者数 (士族・平民別) (1930年〔昭和5〕)……………230	表42 1922年出石郡の農産物総額 ……………351
表23 出石郡選出兵庫県会議員一覽表 ……………237・238	表43 出石地域の現住人口 ……………352
表24 出石出身日露戦争従軍将校名簿 ……………248	表44 出石町の主要工業製品生産額① ……………368
表25 日露戦争従軍者階級別集計表 (出石郡) ……………249	表45 1928年出石郡の杞柳製品 ……370
表26 出石出身戦没者名簿 (明治・大正期)……………250・251	表46 1928年出石郡の籐製品 ……370
表27 町村部落別戦没者集計表 ……252	表47 出石信用組合の成績 ……………374
表28 風水害年表……………256～259	表48 1921年出石郡の農林産物価格 ……………375
表29 人口及び人口密度 ……………263	表49 1921年の出石郡農家の経営耕地面積 ……………375
表30 産業別戸数構成の推移 ……………265	表50 出石郡の米・繭・林産物の総価額 ……………376
表31 養蚕業の発展 ……………266	表51 室埴村の村税滞納 ……………380
表32 町村構造類型の指標 (1950年〔昭和25〕調べ)……………269	表52 大正期の八社宮の年中行事 (旧暦) (1983年〔昭和58〕8月調査) ……………395～398
表33 大地主土地所有状況一覽 ……271	表53 大正期の八社宮の生業 (農事暦) (1983年〔昭和58〕8月調査) ……………398～400
表34 小坂村耕地整理前後比較対照表 ……………285	表54 第三大学区・第二四番中学
表35 出石町分・水上・宮内・坪井耕地整理成績 ……………286	

表136	主な土地基盤整備事業 (補助事業)……………818	表153	業種別製造品出荷額等 (昭和40年代)……………839
表137	転作(水田利用再編対策) 状況 ①種類別面積・割合(1980 年度) ②年度別実施状況……………819	表154	規模別事業所数(昭和40 年代)……………841
表138	水稲作付面積と収穫量の 推移……………820	表155	規模別従業員数(昭和40 年代)……………842
表139	特産物の生産販売状況 (1)たくあん (2)お茶……………821	表156	規模別製造品出荷額等 (昭和40年代)……………844
表140	素材生産量の推移……………823	表157	規模別製造品出荷額等対 前年比一覧(昭和40年代)……………845
表141	木炭生産量の推移……………823	表158	業種別事業所数・従業員 数(昭和50年代)……………847
表142	特用林産物の生産量等そ の推移 (1)しいたけ (2)くり……………824	表159	事業所数及び従業員数の 推移(昭和50年代)……………849
表143	1店当たりの販売額……………827	表160	業種別製造品出荷額等 (昭和50年代)……………850
表144	年間販売額及び1店当た りの販売額……………828	表161	規模別事業所数(昭和50 年代)……………852
表145	年間販売額及び1店当た りの販売額の伸び……………829	表162	規模別従業員数(昭和50 年代)……………853
表146	町内外購買依存率……………830	表163	規模別製造品出荷額等 (昭和50年代)……………855
表147	購買依存率の推移……………830	表164	観光地利用者推計人員……………859
表148	業種別事業所数・従業員 数(昭和30年代)……………832	表165	利用交通機関別入り込み 数(割合)―1987年度調 査―……………859
表149	業種別製造品出荷額等 (昭和30年代)……………833	表166	老朽危険校舎の状況……………861
表150	規模別従業員数(昭和30 年代)……………834	表167	小学校児童数の推移……………862
表151	規模別製造品出荷額等 (昭和30年代)……………834	表168	中学校生徒数の推移……………863
表152	業種別事業所数・従業員 数(昭和40年代)……………837	表169	出石町学校教育研修協議 会組織表……………866
		表170	出石町文化協会加盟団体……………874
		表171	出石町指定文化財一覧表

表89	自小作別・経営農地別農家数……………710	表116	道路の延長と舗装率……………767
表90	出石絹人絹織物協同組合の協同加工場規模……………716	表117	乗合バスの乗降客数調べ(1956年度)……………767
表91	麦類作付面積・収穫高……………721	表118	1957年度(昭和32)及び爾後5か年の財政計画(一般会計)①歳入 ②歳出……………781
表92	経営耕地規模別農家数(1955年)……………722	表119	交通機関(全但バス)利用状況……………794
表93	専・兼業別農家数(1955年)……………723	表120	自動車(小型・軽四輪)の登録台数……………794
表94	年次別有畜農家数及び飼養家畜数……………726	表121	上水道事業の状況……………796
表95	収穫量の推移……………726	表122	し尿収集処理状況……………797
表96	山林経営規模別農家数(1955年)……………727	表123	ごみ収集処理状況……………800
表97	林産物生産高(1957年)……………727	表124	町営住宅建設状況……………803
表98	出石郡町村合併計画……………733	表125	新消防団組織表……………805
表99	新出石町の面積……………748	表126	消防施設の状況……………805
表100	旧町村別の土地形態……………749	表127	出石町消防団機構編成表……………807
表101	人口と世帯数……………749	表128	30年間の災害記録(1)火災 (2)水害……………810・811
表102	合併前5年間の人口動態……………750	表129	歴代団長及び副団長……………811
表103	業態別にみた戸数と人口……………751	表130	農家数と農家人口及び就業人口の推移……………813
表104	産業別生産額……………752	表131	農業機械の普及……………814
表105	規模別・業種別事業所数……………753	表132	年齢・男女別農業就業人口の推移……………815
表106	出石町の地区別人口構成……………753	表133	農家1戸当たりの生産農業所得……………816
表107	地区別人口増減指数……………754	表134	基幹的農作業の受委託状況(1985年産水稻)……………816
表108	出石町産業別人口構成……………755	表135	農用地の流動化状況①利用権設定存続面積・設定率②利用権設定の期間……………817
表109	税の負担状況(概数)……………755		
表110	国税の種目別負担状況……………757		
表111	県税の種目別負担状況……………757		
表112	町村税の種目別負担状況……………759		
表113	合併時の各町村行政財産……………759		
表114	各町村の一般会計予算額……………760		
表115	国民健康保険特別会計の予算額……………761		

扉カット写真

第1章扉	金紋先箱(大名行列諸道具の一つ, 出石町指定文化財) ……………	1
第2章扉	出石藩日誌・県日誌・元県日誌・局日誌(出石町指定文化財) ……………	93
第3章扉	第五十五国立銀行鬼瓦(但馬銀行出石支店蔵)……………	193
第4章扉	辰鼓櫓(大正末期)……………	329
第5章扉	斎藤隆夫書(白鶴高飛不遂群)……………	419
第6章扉	出石鉄道(円山川鶴岡鉄橋を渡る蒸気機関車)……………	533
第7章扉	新町誕生を祝う人文字(出石中学校)……………	655
第8章扉	ふかん(有子山からの眺望)……………	773

見返し

但馬商工便覧(豊岡市 石田香氏蔵)

(1985年〔昭和60〕3月末 現在)(国指定文化財・県 指定文化財) ……887・888		
表172	史料館特別展開催一覧…892	図1 桂小五郎潜伏と町内ゆかり の地…25
表173	埋蔵文化財発掘等調査事 業一覧…892	図2 大保恵堤防付近平面図 ……254
表174	出石町体育協会加盟団体…896	図3 「鉄道敷設法」に示された 予定線路(関係分) ……293
表175	町民総合グラウンド利用 状況一覧…900	図4 山陰鉄道縦貫線路略図 ……295
表176	海洋センター利用状況一 覧…901	図5 出石川・谷山川の改修(改 修前)…580
表177	学習交流グループ一覧…907	図6 出石川・谷山川の改修(改 修後)…580
表178	国民年金等受給者数一覧…914	図7 後染織物織布及び加工々程 …717

執筆 者 一 覧

監 修	梅 谷 光 信	弁 護 士 ・ 但 馬 史 研 究 会 会 長
第一章	宿 南 保	元八鹿町立青溪中学校教諭
第二章	寺 尾 庄 八 郎	兵 庫 県 文 書 課 県 史 編 集 担 当 参 事
第三章	梅 谷 光 信	弁 護 士 ・ 但 馬 史 研 究 会 会 長
第四章一・二節	伊 藤 之 雄	名 古 屋 大 学 文 学 部 助 教 授
第四章三節	梅 谷 光 信	弁 護 士 ・ 但 馬 史 研 究 会 会 長
第五章	岡 本 久 彦	兵 庫 県 文 化 財 保 護 指 導 委 員
第六章	伊 藤 之 雄	名 古 屋 大 学 文 学 部 助 教 授
第七章	滑 川 良 雄	元 兵 庫 県 参 事 ・ 元 県 立 歴 史 博 物 館 次 長
第八章	明 石 正 信	元 関 宮 町 立 大 谷 小 学 校 長

出 石 町 史 第 二 卷 (通 史 編 下)

平 成 3 年 3 月 1 日 発 行

編 集 出 石 町 史 編 集 委 員 会

発 行 出 石 町

印刷・製本 河 北 印 刷 株 式 会 社

京 都 市 南 区 唐 橋 門 脇 町 28
